

ダイ公望

Lord of the Die-angler



March Hare Games
マーク・ヘイアーズ
<http://m-hgames.blogspot.jp/>

あなたはさすらいの釣り師。



数々の大会で釣り王の名を欲しいままにしてきましたが、今度の大会は様子が違います。

強力なライバルの気配がするのです。

他の釣り師を押さえて、眞の爆釣王になるのはいったい誰でしょうか。



□内容物

6面体ダイス: 25個(赤/青/緑/紫/黄色 各5個ずつ)

10面体ダイス: 5個(赤/青/緑/紫/黄色 各1個ずつ)

20面体ダイス: 5個(赤/青/緑/紫/黄色 各1個ずつ)

お魚カード: 15枚

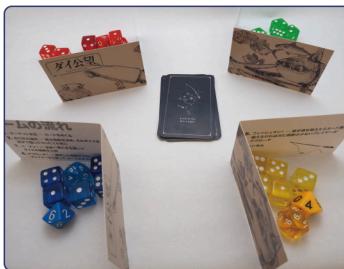
ついたて: 5枚

説明書: 1枚(この紙の事です!)

□ゲームの準備

①ダイス(釣り竿)の準備

各自、好きな色のダイス全てと、ついたてを1枚受け取ります。ついたての後ろにダイスを置いて、他のプレイヤーから見えないようにしてください。このダイスは、プレイヤーの「釣り竿」を意味しています。



②お魚カード(ターゲット)の準備

お魚カードをよくシャッフルし、そのうち5枚をランダムに取り除き、箱に戻します。残った10枚は、全て裏向きにして重ね、テーブルの中央に置きます。このお魚カードが、プレイヤーが獲得を目指す「ターゲット」になります。これで準備完了です。

□ゲームの目的

プレイヤーは釣り師として大会に参加します。目的は、お魚カードを他プレイヤーよりも多く釣り上げることです。10回勝負を行い、獲得した枚数が多い釣り師が眞の釣り王"爆釣王"となります。

□ゲームの進行

①ターゲットの決定

お魚カードの一一番上の一枚をめくって表向きにします。もっとも近くにいる人がカードをめくってください。

②ダイス(釣り竿)の選択

ターゲットの魚を釣り上げるためのダイス(釣り竿)を選択します。自分のついたての内側にあるダイスを他のプレイヤーに分からないように選び、両手でかくします。かくしたまま、手をテーブル中央に出してください。選ぶダイスの数に上限はありません。

③オープン!

全てのプレイヤーがダイスを選び終わったら、両手を開きます。自分がダイスをいくつ選んだかを、他のプレイヤーに公開します。

④アプローチ!

選んだダイスの個数が一番少ないプレイヤーから、ダイスを振ります。

⑤フィッシュオン!

振ったダイスの出目の合計が、お魚カードに書かれた数字以上なら、見事フィッシュオン!お魚カードを獲得します。

⑥1に戻る

1に戻って、新たなターゲットとなるお魚カードをめくります。

[つまり]

他のプレイヤーより先にダイスを振りたければ、使う釣り竿は少なくせざるを得ません。しかし確実にフィッシュオンしたければ、ダイスの数を多くして、他のプレイヤーよりも後に振る選択をしなければなりません!

□アプローチ(ダイスを振る)順番

ダイスが最も少ない
プレイヤーから!



同数なら特殊ダイスが
少ない方から!



それでも同じなら同時!



赤は4個、青は3個、緑は2個のダイスを選択しました。選んだ個数がもっと少ない緑からダイスを振ります。緑がお魚カードの獲得に失敗したら青が、青が失敗したら赤がダイスを振ります。

赤も青も、3個のダイスを選択しました。青は6面体の普通ダイスだけで3個、赤は10・20面体の特殊ダイスを含めて3個なので、青が先に振ります。

緑も青も2個のダイスを選択しました。双方とも6面体の普通ダイスだけで2個なので、同時に振って勝負します。

[同時に振った場合]

一人のプレイヤーだけが目標値以上なら、そのプレイヤーがお魚カードを獲得します。が、複数のプレイヤーが目標値をクリアした場合は、より目標値に近い出目のプレイヤーがお魚カードを獲得します。例えば目標値7に対する出目の合計が、緑が10、青が8だった場合、お魚カードは青が獲得します。

それも同じだった場合は、**キャリーオーバー**です! 次のカードをめくり、今のカードをその下に置いてください。次のお魚カードを獲得したプレイヤーが、あわせて2枚を同時に獲得します。

次の勝負で誰も獲得できなければ、さらにキャリーオーバーします。累積枚数に上限はありません。

□お魚カード

[いろいろな獲得条件]

お魚カードにはいろいろな種類があります。単純に目標値上なら獲得できる①のようなカードもあれば②のように、目標値を超える他にも獲得に必要な条件が付いているカードがあります。

出目の合計が目標値を超えていたとしても、このマークの条件を満たさない場合はお魚カードを獲得できません。

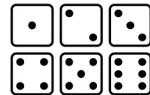


条件なし

条件あり

[条件マークの意味]

123456のマーク



ダイスの出目の中に、マークで示された出目が全て含まれていなければなりません。

=のマーク



ダイスの出目の中に、同じ出目がマークの数だけ含まれていなければなりません。= マークが2つなら、2が2個、3が2個、4が2個でもOKです。

≠のマーク



ダイスの出目が、全て異なっていなくてはなりません。

□ダイスの効果

[6面体]

普通の釣り竿です。特別な効果はありません。1回の勝負で何個使っても、次の勝負で繰り返し使えます。使った6面体ダイスは、次の勝負の前に全てついたての内側へ戻します。

[10面体/20面体]

特殊な釣り竿です。いずれも、持ち込むとクールダウンが必要です。持ち込んだ10面体/20面体ダイスは次の勝負の前についたての内側へ戻せず、他のプレイヤーに見えるように外側へ置かなければなりません。他のプレイヤーにお魚を先に獲得され、振れなかったとしてもクールダウンが必要になります。1勝負分休ませたダイスは、次の勝負の前についたての内側へ戻します。なお、10面体の「0」は「10」として使用します。

また、10面体/20面体ダイスには以下の2通りの特殊な使い方があります。ダイスを振る前にどちらの効果を使うか宣言してください。

①撒き餌(足し算)

10面体/20面体の出目をそのまま数字に足し上げます。6面体と同じ使い方ですが、より大きな数字が期待できます。また、出目は条件達成に適用できます。例えば4の出目が二つ必要となる時に、6面体の4と20面体の4を使って条件を満たすことが出来ます。逆に≠の条件にも適用されますので、≠のときは10面体/20面体とも目が異なっていないと獲得できません。

②再アプローチ(振り直し)

10面体/20面体の出目が奇数だった場合は1回、偶数だった場合は2回、アプローチの際に振ったダイスを振り直せます。振りなおすダイスの個数に制限はありません。振り直しに使った場合、その出目は数字の合計として足し上げできず、条件達成にも使えません(逆に≠の条件にも適用されません)。また、能力を使用した後の10面体/20面体自体の振り直しもできません。

振り直しの例



□特殊ダイスの併用例

[その1]

10面体を「再アプローチ」用、20面体を「撒き餌」用として同時に使えます。その場合、10面体で得た振り直しの権利で20面体の振り直しができます。ただし、最初にダイスを振るときに宣言した特殊能力の内容は変更できません。例えば20面体を振りなおす時に、「今度は『再アプローチ』にする」と宣言は出来ません。

[その2]

10面体/20面体を両方とも同時に「再アプローチ」と宣言して使うこともできます。例えば、10面体の出目が偶数、20面体の出目が奇数だった場合、20面体ダイスを振りなして偶数を狙うことができます。両方で偶数を出せたら、合計4回ぶんの振り直し権利を得ます。ただし、20面体ダイスの振り直し権利を使って10面体を振りなおし、更に振り直し権利を得ることはできません。

□ゲームの終了

最後のお魚カードが獲得されたらゲーム終了です。一番多くのお魚カードを獲得したプレイヤーが真の釣り王"爆釣王"となり、ゲームに勝利します。

□こんなときは…

[1位の人が複数いたら]

延長戦になります。お魚カードの最多獲得プレイヤーが複数いる場合、延長戦が始まります。箱に戻した残りのお魚カードをよくシャッフルし、裏向きにしてセットして下さい。再セットしたお魚カードで勝負をして、一番多く獲得した人が勝利します。先程、最多獲得できなかったプレイヤーも、逆転のチャンスです! 延長戦後も最多獲得プレイヤーが複数いる場合は、勝利を分かれています。

[アプローチで誰もカードを獲得できなかったら]

キャリーオーバーです! 次のお魚カードをめくり、今のカードをその下に置いてください。次のお魚カードの獲得者が、あわせて2枚同時に獲得します。次の勝負で誰も獲得できなければ、更に累積します!

[最後の勝負でお魚カードを誰も獲得できなかったら]

その時点でゲームは終了します。それまでの成績で勝者を判定して下さい。

□上級ルール

ゲームに慣れてきたら、こちらのルールで遊んでみましょう。

[10面体/20面体 特殊能力]

③ルアー(数値のプラスマイナス)

10面体/20面体ダイスの3番目の特殊能力として、「ルアー」(数値のプラスマイナス)を宣言できます。出目が奇数だった場合は、いずれか1つのダイスの出目をプラス1、またはマイナス1できます。出目が偶数だった場合は、出目を「あわせて」プラスまたはマイナス2できます。こちらは1つのダイスの出目をプラスまたはマイナス2してもいいですし、1つ目のダイスの出目をプラス1、2つ目のダイスの出目をマイナス1するなど、プラスマイナスで振り分けで使用しても構いません。

特殊能力を併用した場合も、出目をプラスまたはマイナスできます。例えば10面体を「ルアー」と宣言して奇数を出し、20面体ダイスを「再アプローチ」と宣言し奇数を出したとします。「ルアー」のプラスマイナス能力で、20面体ダイスの出目を偶数に変えて、振り直し能力を2回にすることが可能です。